

公表日 2025 年 3 月 19 日

事業所名	キッズワンハート石浜教室				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		国の定めるスペースを確保している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		国の定める人員基準でスタッフを配置している
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		ワークシステムやスケジュールなど構造化につとめている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		一人ひとり机を提供したりパーテーションを活用していくことで集中して個別活動に取り組むことが出来るように環境設定をしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		落ち着いて過ごしたい時は、個室の部屋に移動できるように対応している。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		定期的に常勤会議を行い、その際PDCAサイクルを取り入れ、業務改善に努めている。パートさんにもその都度日報を用いて情報共有している。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	6	今後、保護者向けアンケート評価表を活用し保護者様の意向の把握し改善に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	朝礼を行い職員同士意見交換をしている。出勤していなかった職員にも伝えるように日報に議事録を残して共有している。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5	今後、第三者による外部評価を受けて業務改善に努めていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		定期的に外部研修に参加している。強度行動障害の基礎研修は基本的に全員受講をして、職員の資質の向上に努めている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		株式会社波音、ホームページのブログ内で公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	半年に一度は面談を実施し、アセスメントをとっている。また、分析したうえで個別支援計画を作成している。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		毎月会議を行っている。面談内容を議事録に残して、共有し、検討したうえで個別支援計画を作成している。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		職員間で放課後等デイサービス計画の共有をしている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		保護者様との面談や他事業所、学校と連携を取り、適応行動の状況を確認している。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		ガイドラインに従い、5領域踏まえ、家族支援・移行支援等具体的な支援内容を設定している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		会議を定期的に行いプログラムの立案をチームで行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		固定化しないように職員間で話し合いをしている。 外出活動を増やし経験を増やしていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		職員を通して集団活動へ繋げるように支援している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		職員で朝礼を行い、支援開始前にはパートさんも含め打ち合わせをし、支援の統一、情報共有をしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	6	送迎範囲が広いため送迎終了後に支援の振り返りを行えないことが多い。行えなかった場合は次の日の朝礼で振り返りを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日々の支援に関して毎日記録を作成している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	5	半年に1回モニタリングを行っている。状況に応じてそれ以上の計画の見直しを行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	1	放課後等デイサービスガイドラインに沿って複数組み合わせ合わせて支援が行えていけるように支援していく。定期的にガイドラインの読み合わせをしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		子どもたちに意見を聞き自己選択、自己決定できる機会を多く設けている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		サービス担当者会議には児童発達管理責任者等の適任者が参画している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		必要に応じて、関係機関との支援会議を行っている。また、相談支援専門員や保護者様を通して情報共有して連携をとっている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		保護者と連携を取って連絡調整を行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		事業所等に訪問し、見学、情報交換を行い相互理解に努めている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	6	現在対象の児童がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2	今後、研修にも参加して資質向上に努めていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	8	地域の公園等で同じ空間で過ごす機会がある。今後も地域の中で安心して過ごせる場所を増やしていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1	今後、自立支援協議会にも積極的に参加していく。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		アプリの連絡帳や送迎時に保護者様と子どもの状況についてやり取りをしている。必要に応じて電話を用いてお伝えさせていただいたりし共通理解に努めている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	相談事があった場合等にその都度、情報を共有し、一緒に考えたり、アドバイスをさせていただいている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に運営規程と利用者負担等について説明をしている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		面談の際には子どもや保護者様の意向を確認し、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		個別支援計画をお渡しする際には支援内容について説明を行っている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		悩みに対する相談は随時行っている。日ごろから、保護者様との関係を大切にし、相談しやすい雰囲気作りを心がけている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	7	現在父母会は行っていない。今後年間計画をたてて交流する機会を設けていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		契約時に苦情の窓口を案内している。苦情があった場合、苦情受付、解決担当につなげ、迅速かつ適切に対応できるように努めている。また社内で共有している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		ホームページで週に1回ブログを公開し、活動内容を保護者様に発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報の取り扱いには配慮している。破棄書類はシュレッター処理をしている。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		意思疎通に配慮している。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	今後、地域住民の方を招待する機会を作っていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		マニュアルを策定している。 避難訓練では様々な訓練を想定した訓練を行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		BCP委員会を開催し、他事業所との連携をはかっている。避難訓練は定期的に行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		事前にてんかんが見られる利用者には情報を共有している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		現在対象の児童がいない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		定期的に必要な訓練を実施している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		活動の取り組みについてはアプリで月間予定表を配布している。

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		何か起こった場合は必ずヒヤリハットを作成し、改善に努めている。また、虐待防止委員会でも各事業所のヒヤリハットを共有している。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		必ず虐待防止に関する研修を行っている。全事業所で役職別にメンタルヘルスの研修にも参加し、職員の心身の安定につながるに努めている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		保護者様に説明を行い同意書をいただいている。個別のケースに対して、個別支援計画に記載し、保護者様に事前に了承を得ている。